
キリスト・イエスにある同じ思い

黃貞順 牧師(甲府伝道所)



東京總合神学校칼럼

二学年 朴善珠

問い、その答へて、神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶこと、これこそが神が創られた人間に神ご自身が求められることであり、また創られた人間の主たる本分であります。しかし人は「もっぱら人間の栄光をあらわし、人間中心である」ことを渴望します。正にここに私たち人間が罪人と言われる所以があるのかもしれない。神の栄光を横取りし自分に帰し、先ず



絶えることがなく、この国の人権蹂躪や差別的発言は、今なお私たちを傷つけます。憤りで堪えられませう。神よ、何故黙っているのですか、まさかあなたは微睡んでいるのでは、と

を傾けず、キリストの十字

神があなたを恵みの下へと召された目的や意図に忠実にあつたかを先ず問うてみて下さい。私は神の栄光をあらわし神を喜んでゐるか。主イエスが言われた第一の戒め、心を尽くし精神を尽くし思いを尽くし力を尽くして私の神を愛しているか。そして第二の戒め、

分には忠実であるべきです。先ず神の栄光をあらわし喜びあがめます。先ず神を思ひそのみ旨に聴き従います。神のお顔が単なるマグナカルタや便利屋にしか見えないのは寂しいことです。それは人格なる神への侮辱です。勿論私たちは神を利用できます。しかし神はそのためにおられるお方ではない。神はいと高きと

その言葉通り、主は仕え
の道、即ち十字架の道を徹
底的に歩まれます。神の身
分である主はそれを固執し
その座にしがみつき、自分
の権利を主張することな
く、ご自分を無しに低くな
られます。十字架の死を味
わうまで。罪の人間存在の

●三月一日「外国籍住民の完全な地方参政権を求める集会」が韓国YMCAで開催。

ソウルの日本大使館前で毎週水曜日、元「日本軍慰安婦」や挺身隊問題対策協議会などの支援団体が続けた「水曜日デモ」が、四

誌

2000年
3月～5月

ルを主会場に開催。

●四月一日 昨年公布され
た指紋押捺制度全廃などを
盛り込んだ「外国人登録法
一部改正」が施行。

●四月二日 韓国YMC A
で「指紋制度崩壊記念集
会」が開催。

●四月三日 指紋押捺拒否

不動産業務
免許番号・愛知県知事
太栄企業株

代表取締役 金
(名古屋)
事務所 名古屋市熱田区川
(名古屋市中心卸売市場)
電話 052(68
自宅 名古屋市千種区御

金 光 洙
(名古屋教会 長老)
市熱田区川並町2番21号
(市中央卸売市場入口南側大栄ビル)
052(682)1177(代)
市千種区御影町2-55-5

100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

100

西南地方会 修養会開催

그린 데이비스 牧師夫妻를 講師로

西南地方会 夏期修養会
가치년 八月二十日(主日)
二日(火)에 山口県の
大河内山荘에서 地方会傘
下各教会에서 五十余名의
信徒 및 牧師들이 모여
恩惠롭게 開催되었다.
地方会 教育部(部長: 崔
榮信) 牧師로 主催로 開催된
修養会는 今年度 總會 教
牧者・長老 研修會와 같은
主題인 “새時代に 所望
을 갖고 宣敎하는 教會”
로 카나다長老教會의 總會
長인 그린 데이비스(Glad
Davis) 牧師를 講師로, 그리
고 그의 夫人 조이스 데이
비스(Joyce Davis) 牧師를 特
別 講師로 하여 二世紀를
向한 새로운 宣敎의 使命
을 再確認시켜주는 좋은 機
會가 되었다.



講師인 그린 데이비스 牧師
夫妻는 카나다長老教會의
宣敎師로서 一九六三年에
西南地方會에 派遣되어 一
九七八年까지 十五年間 獻
身的인 奉仕를 하였던 牧
師님으로서 本總會와 西南
地方會를 사랑하시기에 바
쁘신日程에도 講師로 와
주셨는데 西南地方會는 多
年間 祈禱해 왔던 宮崎에
傳道所를 지난 七月에 開
設하였고 大分의 別府에도
開拓傳道所를 推進하고 있는
時点에서 今番의 修養會는
意味있는 修養會였다.
開會式後 多年間 關東
地方會 札幌教會에서 視務
하시다가 지난 八月에 下
關教會에 赴任해 온 李俊
鶴 牧師가, 그리고 閉會式
後에는 討論會를 하였
는데, 現在 各教會의 礼拝

全協全国聖書キャラバン巡回

心の内面や信仰心をさらけ出し内的成長促す

青年会全国協議会(全協)の一九九九年・二〇〇〇年度聖書キャラバンが四月から七月にかけて行われた。聖書キャラバンとは、伝道部員が中心となって全協青年が各地方會をまわり、青年たちと聖書や信仰について日頃から考えていることなどを話し合うという企画である。

例年は各地方會の聖書キャラバンごとに講師を呼んで話をしていたが、その講演内容を基にして青年同士が話を深めていくという形をとっている。しかし今年度は参加者のより主体的かつ積極的な参加を目指して新たな聖書キャラバンの形を模索した。

今年度の聖書キャラバンは「私の聖書物語」と題して、ある聖書箇所を物語として、自分の中で話をしていくという形式をとった。例えば「放蕩息子」の物語ならば、放蕩の限りを尽くした弟が父の家に帰ってくるという場面、聖書の物語を区切る。そこから参加者一人一人が「自分だったらこうする、いやあある」と登壇人物の立場に立ち、自分の信仰に基づいて一言ずつ物語を作っていく。そうして語られた一言が積み重なっていき、まったく新しい「私の聖書物語」ができあがっていく。放蕩の限りを尽くした弟が悔い改めた後でもまた同じ過ちを犯して家を飛び出していくなど、参加者の奥底にある内

京都教会青年会が 創立70周年記念礼拝

李仁夏牧師を講師に迎え、在日宣敎検証



去る七月九日の青年主日、京都教会青年會はその前身である京都教会勸導青年會の創立から数えて七〇周年を迎え、それを記念して李仁夏牧師(川崎教會元老牧師)をお招きして記念礼拝を捧げた。

午前礼拝はI・II部合同礼拝として、「二人の主に仕えられるか?」という題

また、午後礼拝は青年會献身礼拝として李仁夏牧師に「在日同胞の多様化と福音宣敎」という題で、京都教會の歴史、戦争の歴史、そして在日社會の現状、これからの世代を担っていくであろう私達青年のあるべき姿など、多岐に渡る内容

で李仁夏牧師による説教があり、短い時間でありながら自身の生い立ちから今後へのわれわれの行き方を考えるための充実した内容をコンパクトに収めてお話しいただいた。

教会の歴史、戦争の歴史、そして在日社會の現状、これからの世代を担っていくであろう私達青年のあるべき姿など、多岐に渡る内容で二時間にわたり講義を受けた。

その後、青年會主催によるささやかな茶話會が開かれ、京都教会青年會のOBの方々からの挨拶と祝辞をいただいた後、李牧師を中心にして思い出話に花を咲かせた。

今回、たくさんの人たちに助けられて青年會がこのような礼拝をもてた事を神様に感謝し、あと半年を切った二世紀の到来にむけて、青年會がもっと神の御心になつた活動を行えるように皆で努力していきたい。

(報告: 京都教会青年會長 康宇範)



面が新たに作られた物語に反映されていく。そうして一つの物語を作り終えるのと、参加者全員でシェアをする。「なぜ物語のあの場面であつたはそう言つたの?」とお互いに話し合うことで、自分の中で気づかなかつた自分の内面や信仰観に気づくことができたし、また日頃身近にいる友人の意外な一面を知りお互いの理解が深まった。これは非常に楽しく創造的な最後の一つお願いした

ひとときであり、シェアが白熱するあまり時間が経つのを忘れるほどであつた。地方會によつては牧師にも加わつていただいた。

各地方の聖書キャラバンでどのような「私の聖書物語」ができあがつたかについては、全協の機関紙である「コルム」の特別号(聖書キャラバン報告)をご覧いただきたい。日頃はあまり見ることのない青年達のまじめな一面、また意外な一面や楽しい一面などを知ることができるはずである。

中部地方青年連合會主催の中部連修養會が八月二五・二六日に岡崎教會にて開催された。テーマは「新しいつながり、これからの私たち」で、講師は、豊橋教會の金勇基牧師。新しい青年連も参加し人数は、二十人だった。

開會式後、川に移動し、ます釣りなど川遊びをして楽しんで、夜に金牧師による聖書講義があつた。

讃美を通して、みことばを確認し、私たちが神からの素晴らしい愛を改めて感じることができた。金牧師が神と出会い、キリストの十字架を確認し、自分自身のものとして確認したことが、今の信仰の土台となつていてと証しされ、十字架の意味が話された。その後の交流會では、名古屋教會の許伯基伝道師より証しがあつた。

聖書キャラバンは次の日程で行われた。

関西地方: 四月三十日、大阪教會、参加者二十四人。

中部地方: 五月十四日、岡崎教會、参加者十三人。

関東地方: 五月二十八日、横浜教會、参加者十二人。

西南地方: 七月九日、福岡中央教會、参加者十六人。

会場として使わせていただいた各教會、そして参加してくださつたすべての方に感謝したい。

い。今年度の聖書キャラバンでは、有意義で楽しい時間を過ごせた。しかし地方會によつては参加者が十数名と少なく寂しい思いもした。やはり参加者が少ないと喜びも充実感も半減する。来年度以降の聖書キャラバン、そして全協のすべての行事に対して祈りのうちに心を持っていたいただき、各教會の青年を送り出して下さるようお願いしたい。教會の未来を担う青年が全協という場で仲間を知り新たな経験をするのできつと各教會にも活力が生まれるはずである。共に全協を創っていくことを思う。

(報告: 韓守賢)



二日目は金牧師の聖書講演があり、青年一人一人にわかりやすい話であつた。

閉會式の中に青年の祈りの時間として、名古屋、岡崎、豊橋各教會の青年が問題点をあげ祈りを共にした。

最後に、中部連の竹腰會長から、中部連の問題点を

十月八日には中部地方青年連合會の總會があり、今回の修養會で初めて出た青年とこれから中部連でできることを一緒に考えて

(報告: 金信志)

公 告

在日大韓基督教會 品川教會

本教會はイエス・キリストの福音を宣べ伝えるために二〇〇〇年八月二十八日に、後記の建物を購入しました。後記の建物を当法人の名義にするため、ここに公告いたします。

記

東京都品川区大井三丁目三番四号(地上六階)

一階 九三・二七平方メートル

二階 八三・一八平方メートル

三階 八九・二二平方メートル

四階 八九・二二平方メートル

五階 八九・二二平方メートル

六階 八三・一八平方メートル

二〇〇〇年九月一日

在日大韓基督教會總會 代表役員 金 德 化

書 記 朴 寿 吉

キリスト教教育の目的を

る。ゴールをしつかり捉えている限り、そのゴールに到着するための適切な活動が選択され得るし、そのものの活動は統一のとれたものとなり、また、その成功は家の建設に向けて達成された結果という試金石で計られる。

理解

教育を主導してきた既成世代の数多い人間理解の中で、我々は二つの典型的な人間理解を整理してみることが出来る。一つは人間個人よりは社会に価値を置く理解であり、もう一つは社会よりは人間個人に絶対性を付与する理解である。

前者は生まれた人間を二つの白紙 (tabula rasa) として見る。幼い人間はまだそれ自体としては何のものでない、可能的存在である。白紙は作品が描かれる基本の材料にすぎないように、幼い人間は一つの可能的材料として、大人が加える刺激を感じ、経験して反応しながら一定の人間として形成されて行くだけである。それゆえに教育する既成世代の関心は、生まれた人間の

有の成長秩序をタラント、
賜物、潜在能力、素質、ま
たは遺伝的可能性を付与さ

ここで我々は教育の一番目の概念定義を下すことができる。教育は人間行動の計画的な変化を可能であるようにさせる技術学と言うことができる。このような立場に立っている教育学を我々は実証主義的、行動科学的、経験科学的教育科学で見るのである。そしてまたこのような教育関心に立っている既成世代は社会の現状（変化のない状態）の維持、保存、発展に専念する。そのようにして教育

教師は一種の園丁である。教育の関心と出発点が個々人間にあるから、自我実現が教育の目的であり、多元型カリキュラムのような成長発達に適切な教育経験の提示が重要視される。このような教育を我々は「育てる教育」と言う。これでは我々は教育に対する二番目の概念定義に到達したのである。教育は幼い人間を彼の内的成長秩序に従って調和を持って成長するように

「人
それ」

今年の春、アジア・キリスト教教育基金のスタディツアーでバン格拉デシュに行ってきた。到着するやいなや、僕が抱いたバン格拉デシュの印象は、まさしく「混沌」であった。あの無秩序な交通事情がはびこる道路上にその一端が象徴される。存在感を存分に漂わせる。ながら突き進んで行く高級車を一方で見たとと思え

ある農村で、過間滞在することとなった。首都から離れこの辺りまで来ると、水は井戸から汲み、また夜は電気などないため、外は「暗闇」そのものである。ある晩、僕は食卓上の蝋燭の火を見ながら、少し不思議なことを考えていた。今自分たちのいるこの家の中から外を覗こうとしても、外は暗闇に包まれていて辺りはほとんど何も見えない。しかし、今度は逆に外から

は初め、あの「暗闇」や「渾沌」のようであったが、しかしさらにもう一步踏み込んでみると、実はそこには「素朴さ」が脈々と流れている。汗を流しながら黙々と働く人々の姿。子どもたちの無邪気な笑顔。物心ともに特に何かを着飾るといふこともなく、へきでいる」ということを強く感じさせる人々の息遣い。そこから同時に、外からは中が見えたように、今度はパン

確かに言えることは、それが自分の内に潜む弱さとの闘いという過程の連続であるということだ。しかし、どうしようもない弱さと常に隣り合わせに生きていくこの自分とは、確かに自分の一つの本来の姿である。そのような自分をまずは認め、受け入れていかなければならないと思う。

しかし、「自分の弱さ」を知り認めながらも、それが狭い意味での「ありのまま

式会社 ニューキング
限会社 三 愛

取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)

ユークイング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

の内容は、主に既成世代とその社会の主導的な価値体系、知識、行動目録、倫理によって構成され、当為として成長世代に提示される。ここでは成長世代の自我実現と主体的生の意味追求は社会的当為性の限界の中でのみ許容されることができる。

後者は、生まれた人間を人間それ自体として完全であり、独特であり、絶対的な人格体として見る。人間は内的な成長秩序を持つている自目的な存在である。これをアリストテレスはエンテレヒという言葉で表現した。全ての一人一人は生まれる時から一定の固

ここで教育学は人間成長の栽培学として現れ、養育と陶冶、自発性と非決定性が教育学の基本概念になる。最終的には、子供各自の自我実現は各自についているため、教育は徹底した意味において無能である。このような立場に立つている既成世代は、社会秩序と現状の維持よりは、成長世代個々人の調和ある自我実現を強調する。そして社会秩序と現状は、個々人の独自であり調和ある成長を侵害しない範囲の中で尊重されるだけである。人本主義的、自然主義的、博愛主義的教育学がこれに属するのである。

きつとこの蛍燈の光によ
て中の様子はよく見えるに

みる。また、漠然と日本を
けでなく、そこに暮らす自
分の身の周りの生活を、そ
して自分自身を見してみる
すると、今まで日本に居て
は当たり前で気づかなかつ
たこと、そしていつの間に
か自分が一つずつ失ってき
た大切なものを発見するの
である。

僕がバン格拉デシュに拘
いた印象、すなわち一見す
ると無秩序のように見えな
あの「混沌」は、実は「自
分」を映し出す鏡だったの
だ。しかも、単に外側の姿
だけでなく、自分の内なる
姿をも映し出す鏡。そして
その鏡が映し出したものと
は、「貧しさを知らない」豊

されないままというのはあまりにも悲しい。体を殺す者への恐れ（ルカ12・4）よりも、自分の魂を殺してしまうほどの何かからの圧力や吸引力に身も心も委ねてしまう「自分の弱さ」への恐れの方が、もしかしたら大きいのかもしれない。「自分の弱さ」に屈服するところには、神の怒りが働くのではないだろうか？そしてこの神こそが、もっとも恐れるべき方（ルカ12・5）。常に私たちを見ていて下さる神は、私たちの全てを知っているが、時に怒りをもって（戒めの神として私たちに現れるのではないだろうか。この「怒

愛三グループ
愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部

代表取締役会長	白	昌	鎬
代表取締役社長	白	一	善

本社	東京都墨田区江東橋4-6-4	TEL (03) 3633-7477(代)
済州C・C	韓国済州市寧坪洞2238-2	TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所	韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167	TEL (02) 739-3327(代)

「人生という名の旅、
それは自分の弱さとの闘い」

朴 大 信 (調布教会)

に身をさらしながら物乞いをする少女の姿が目に見える。あまりにも対照的な現実が、同じ時間、同じ場所ですぐに目の前に現れる。当たり前のように混雑している。しかし、結局私には何もできず、目のやり場に躊躇する無力な自分にはただ傍観するしかない、というもう一つの現実が混沌に混沌を重ねるようだった。だがまた、今日の当たり前にしているこの現実と自分とは無関係なものなのだろうか？ 自分はこの現実に対してどんな応答ができるのか？ という問いが続く。

違いない……。今仮に、蠟燭で明るい家の中を日本とし、「暗闇」に包まれた外をバングラデシユとして見る。ことが許されるなら、そこからどんなことが見えてくるだろうか？ 中からは外が見えなかったように、日本で暮らしている内は、バングラデシユのことなどほとんど知る由もなかった。しかし、実際に自分の足でその地を訪れること初めて日本では見えなかったバングラデシユの人々の姿が少し見え、日本では聞こえなかった人々の声や思いが、すかにかんてきた。そこ

かき」に生きる自分」の側に、「貧しさを知らない（貧しさ）に生きる自分」であつた。

後者に生きる自分とは未熟な自分、どこかで驕り高ぶっている自分、人を侮つけてしまう自分、正しいと知っているのにそれをやらない・できない自分、自分から逃げたくなる自分……。

こうしたどうしようもない（貧しい）自分とはつまり、「自分の弱さ」に起因すると僕は改めて思う。だから、少なくとも自分自身の人生の歩みにおいて、一つ

りの神・戒めの神」である。方をいつも「恐れ」ながら自分自身が「自分の弱さ」に向き合つて、祈りのうちに克服していく態度というものゝを忘れてはならないと思ふ。

しかしまた、怒りの神は決して怒りの神のままでとどまる方ではないと信じたい。「自分の弱さ」を克服しようにも克服できないどうしようもない私を、雑踏の中に埋もれて歩むべき道を見失ひそうになる私を、それでもなお開放さず探し出し、私たちの髪の毛までも一本残らず数えておられ

る(12・7)ほど、痛
らしいの熱い視線で見つ
くださる方であると信
い。そして、この個所
けるイエスの言葉は、
達に向けて発した言
あつたと同時に、そ
神への堅い信頼に根ざ
イエスご自身の将来を
した言葉としても受
られるのではないか。
「人生という名の旅
れは自分の弱さとの闘
この闘いにおいて、
の中で怒りの声を聴き
も、自分を立ち上
再び一歩を踏み出さ
の力が働く」と信じたい



分の身の周りの生活を、そして自分自身をしてみる。すると、今まで日本に居ては当たり前で気づかなかつたこと、そしていつの間にか自分が一つずつ失つてきた大切なものを発見するのである。

僕がバン格拉デシュに抱いた印象、すなわち一見すると無秩序のように見えたとあの「混沌」は、実は「自分」を映し出す鏡だったのだ。しかも、単に外側の姿だけでなく、自分の内なる姿をも映し出す鏡。そしてその鏡が映し出したものは、貧しさを知らないへ豊

者への恐れ（ルカ12：4）よりも、自分の魂を殺してしまふほどの何かからの圧力や吸引力に身も心も委ねてしまふ「自分の弱さ」への恐れの方が、もしかしたら大きいのかも知れない。

「自分の弱さ」に屈服するところには、神の怒りが働くのではないだろうか？そしてこの神こそが、もつとも恐れるべき方（ルカ12：5）。常に私たちを見ていて下さる神は、私たちの全てを知っているが、時に怒りをもって（戒めの神として）私たちに現れるのではないだろうか。この「怒

愛三グループ
愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部

代表取締役会長	白	昌	鎬
代表取締役社長	白	一	善

本社	東京都墨田区江東橋4-6-4	TEL (03) 3633-7477(代)
济州C・C	韓国济州市寧坪洞2238-2	TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所	韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167	TEL (02) 739-3327(代)

株式会社 ニューキング
 有限会社 三 愛

取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

愛三グループ

愛三産業株式会社
 済州カントリー倶楽部

代表取締役会長	白	昌	鎬
代表取締役社長	白	一	善

本 社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
 済州C・C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
 ソウル事務所 韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)